パレスチナ自治区ガザ地区における即時停戦を求める決議

上記の議案を提出する。

令和6年3月26日

提出者

8番 ひがし まり子

4番 深 田 貴美子

5番 東 山 あきお

6番 宮 代 一 利

7番 本 多 夏 帆

10番 浜 田 けい子

12番 菅 源太郎

13番 さこう も み

14番 藪 原 太 郎

15番 蔵 野 恵美子

18番 与 座 武

19番 橋 本 しげき

20番 三 島 杉 子

21番 本間 まさよ

22番 山本 ひとみ

23番 下田 ひろき

24番 西園寺 みきこ

25番 川名 ゆうじ

26番 深沢 達也

武蔵野市議会議長 落合 勝利 殿

パレスチナ自治区ガザ地区における即時停戦を求める決議

イスラエルとパレスチナのイスラム組織ハマスの戦闘が始まってから5か月が過ぎ、ガザ地区での死者は3万人以上に上っている。

ガザ地区の状況は、ハマスによる民間人の人質、イスラエル軍による検問などで人道支援物資を運び込むことも難しくなり餓死者も出ているなど、人道状況は悪化し続けている。

ユニセフからは「子どもたちの墓場と化し、人々の生き地獄となっている」と言われる深刻な危険に直面している。

よって、武蔵野市議会は即時停戦、人質の即時解放、国際法、国際人道法を遵守し人命を守るとともに、支援物資の供給を通じ人道状況を改善することを強く求める。

以上、決議する。

令和6年3月 日

武 蔵 野 市 議 会